



「代かき」をする田村さん



田んぼに水がきました

二十四節気 **立 夏** りっかー 夏の始まりです 田植えが始まります
気持ちのいい風が吹き、新しい葉が繁る頃

20℃を超える暑い日が多くなってきました。
日中は、Tシャツ1枚でも汗ばむような天気となっています。

◎◎ 田んぼに水が来ました ◎◎

新潟市南区の早い地区には、24日の日曜日、農業用水の供給が始まり、田んぼに水が来ました。

翌日の月曜日は、「代かき」に出ている農家を多く目にしました。

代かきは、耕起が完了した田んぼに水を張り、土を更に細かく碎き、丁寧に
かき混ぜ、土の表面を平らにする作業です。

田んぼの水漏れを防ぐこと、田植えの際に苗を植えやすくすること、植えた苗が
転ばないようにするといった目的があります。

南区の生産者の田村さんは
25日箱処理剤と除草剤の納品に伺うと
自宅横の田んぼの代かきをされていました。
田村さんは、趣味で育苗ハウスの中で、
シャインマスカット等の葡萄も栽培していますが、
見ると小さい葡萄の実がついていました。



実をつけたシャインマスカット



天気もよく順調です



稲と肥料を補充します

新潟市西蒲区の生産法人の米工房いわむろさんは、28日に田植えをスタート。最初に植えるのは、もち米の加工用米のゆきみらいという品種です。今年、高温により苗を焼いてしまった農家さんも多くいらっしゃいましたが、米工房いわむろさんでは、苗も順調で短くしっかりとした苗を植えていました。

西蒲区の岩室地区は農業用水の供給が早く、22日に田んぼに水が来ました。伺ったこの日は天気も良く作業は、順調に進んでいるようでした。

ゴールデンウィークは、当地の個人の農家さんの田植えのピークになります。後半は天候の良い日が続き、田植えも順調に進みました。

新潟市南区は、果樹の栽培も盛んな地域です。当社近くの生産者の野沢さんは、お米の他に日本梨の栽培もしています。20日と21日の2日間、日本梨の花粉付けをしていました。私の母の実家も梨農家だったので、花粉付けをしている姿を見ていると、なんだか懐かしくなりました。野沢さんの田んぼには、28日から農業用水の供給が始まるとのこと、水が来てから急いで代かきに入ると言っておられました。



どんどん植えていきます



植えられた苗



梨の花粉付けをする野沢さん